

リモコンエンジンスターター
&
ターボターマー

BeTime A-03

取扱説明書／保証書

このたびは、「BeTime A-03」をお買い上げ
いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの
うえ、正しくお使いください。なお、お読みにな
られたあとも、いつでも見られる場所に大切に
保管してください。

COMTEC

目次

●主な特長	1
●使用上の注意	2
●各部の名称	3
●リモコンについて	
・ご使用にあたって	5
・アンサーバックシステムとは？	5
・紛失または破損した場合	5
・IDコードの入力方法	6
・電池の交換について	7
●操作及び確認について	
・リモコンでの操作及び確認	
(1) エンジンを開始させる	8
(2) エンジン始動の確認	9
(3) エンジンを停止させる	10
(4) アイドリング(暖気)時間残り5分前のお知らせ	11
(5) アイドリング(暖気)時間を10分間延長させる	12
・安全機能の確認	13
●設定について	
・エンジンスイッチの設定方法	15
・アイドリング(暖気)時間の設定方法	16
・ターボタイマーの設定方法	17
●その他機能について	
・バッテリー電圧の識別	18
●運転する時は	19
●故障かな？と思ったら	20
●配線システム図	22
●仕様	23
●保証書	

主な特長

■アンサーバックシステム搭載

リモコンと操作部が電波を送信と受信することができるため、エンジンが始動しているか、いないかリモコン操作することによりアラーム音とLEDでお知らせします。

■誤作動防止のダブルスイッチ方式

リモコンの操作スイッチを2回押す事により電波が送信されますので、うっかりスイッチを押してしまった時のエンジン始動を防止します。

■アイドリング（暖気）時間の変更ができるウォームモード

リモコンでエンジンを始動した時のアイドリング時間を使用条件にあわせて、15分・30分・60分に設定できます。

■エンジンの再始動を行うリトライ機能

リモコンでエンジンが1回目に始動しなかった場合、自動で最大2回まで再始動を行います。

■ターボタイマー機能

走行条件にあわせ、OFF・30秒・1分・5分の時間から選択し設定できます。

■暖気時間残り5分前のお知らせ機能

リモコンでエンジンを始動した時のアイドリング時間が、設定時間の残り5分前になった時、リモコンのアラーム音とLEDでお知らせします。

■暖気時間10分間の延長機能

リモコンに暖気時間残り5分前のお知らせがあった場合、リモコン操作で10分間の延長ができます。

■万一に備えた安全機能

(1) 異常電圧保護回路

車の電圧が極端に低下し、万一本機が誤作動した場合「異常電圧保護回路」が働き、リセット状態になります。

(2) セルモーター誤作動防止回路

本機でエンジンを始動した際、万一セルが回りっぱなしになった場合、「セルモーター誤作動防止回路」が働き、セルを停止させます。

(3) キースイッチ優先回路

本機作動時のアイドリング中、イグニッションキーをONの位置にするだけで走行可能になります。

(4) バッテリー電圧識別回路

バッテリー電圧が低くなると、操作部のエラーランプでお知らせします。

(5) ATシフトストップ回路

本機作動時のアイドリング中、ATシフトレバーをパーキング(P)（もしくはニュートラル(N)）から他のポジションへ移動した場合、エンジンが停止します。

(6) フットブレーキストップ回路

本機作動時のアイドリング中、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。

※(5)、(6)はどちらか選択になります。

(7) ボンネットセンサー回路（オプション）

ボンネットセンサーを取付けることにより、ボンネットを開けると本機の電源をOFFします。

使用上の注意



危険

事故・火災などの危険性がある、下記の状態や場所での使用はしないでください。

■公道や公共の駐車場での使用は道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。

■排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。

■ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。

■火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。

■暴走事故を防止するため、イグニッションキーをOFFにする時はATシフトをパーキング（P）に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。

特に、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、パーキング（P）以外でもイグニッションキーを抜くことができるため、必ず守ってください。

■暖気運転の直後にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。

■お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。

■リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。



注意

車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。

■本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。

■本機作動時のアイドリング中、イグニッションキーをSTART まで回すとセルモーターが故障する恐れがありますので、必ずONの位置で止めてください。

■リモコンのケースやアンテナを手で包み込むと電波の飛距離が短くなります。

■リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。

■リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

■ターボタイマー（スターター含む）や盗難防止機（他社製品）との併用取付けはできません。

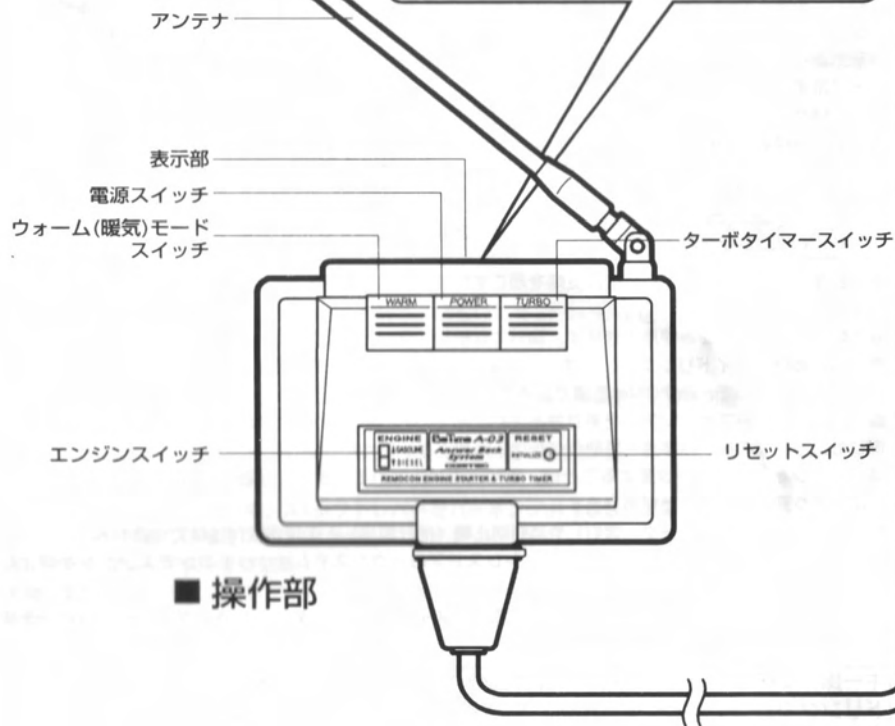
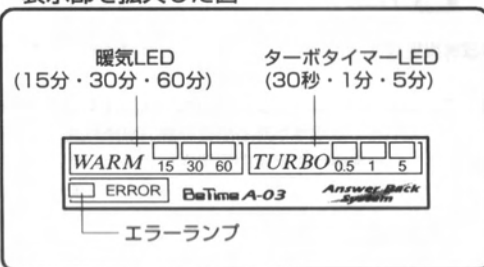
■キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックシステムは、リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。

■オートライトコントロールシステムは、降車時にスイッチをOFF にしてからイグニッションキーを抜いてください。

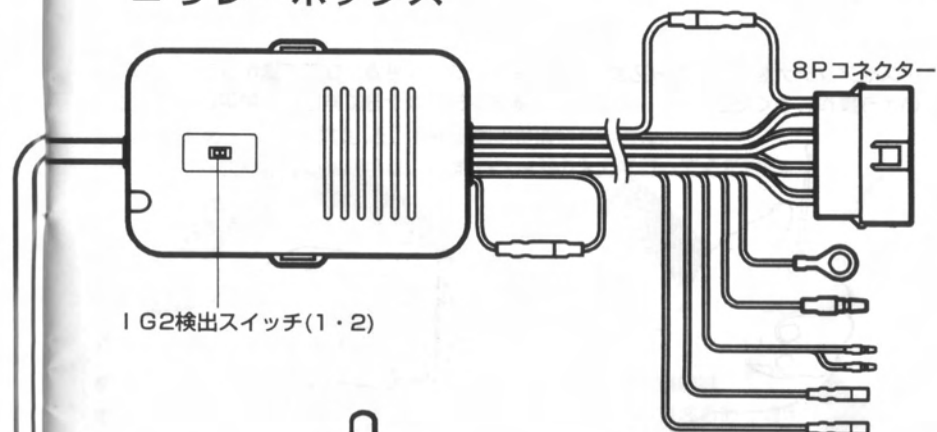
キー操作でのアイドリング中に、操作部のパワースイッチをON又はOFFにすると、アイドリングの回転数が低くなったり、エンジンが停止したりする車種が一部あります。このような場合は、オプションBe-961「リレー瞬断防止アダプター」を取り付けて下さい。

各部の名称

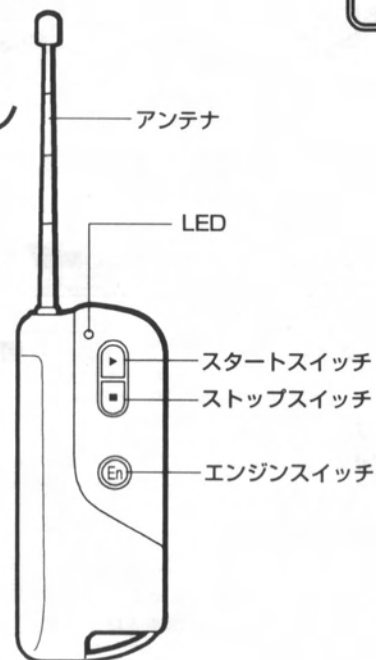
表示部を拡大した図



■ リレーボックス



■ リモコン



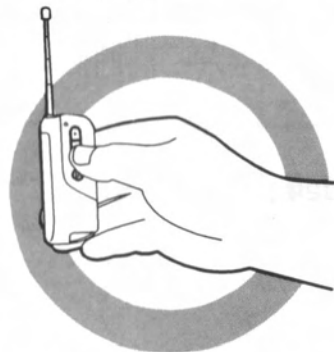
リモコンについて

■ご使用にあたって

リモコンを操作する時は、電波の送受信の安定性を確保するために、下記のように操作してください。

- ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。

- リモコンは垂直に立てて操作してください。
- アンテナは十分に伸ばして使用してください。



! 注意

- リモコンで操作できる距離が短くなったら、早めに新しい電池と交換してください。
 - 指定の電池（CR2032）以外は使用しないでください。
 - 電池寿命の目安は、1日2回の操作で約1年です。
- ※使用する条件によって異なります。

■アンサーバックシステムとは？

リモコンと操作部が電波を送信と受信することができるため、エンジンが始動しているか、いないかリモコン操作することによりアラーム音とLEDでお知らせします。

■紛失または破損した場合

万一リモコンを紛失または破損した場合、操作部、リレーボックスを交換することなく、新しいリモコンのIDコードを入力することにより引き続きご使用いただけます。

- 新しいリモコンは販売店にてご注文ください。標準価格¥22,000（税別）

リモコンについて

■IDコードの入力方法

IDコードの入力とは？

リモコン個々に違うIDコードを、本機の操作部に入力させ記憶させることにより、他のリモコンや他の電波による誤動作を防止します。

! 注意

- IDコードの入力を行わないと、本機の電源がはいりません。
- バッテリー交換等をした場合は、必ずIDコードの入力を行ってください。

IDコードの入力をする前に

! 注意

周辺に下記の項目がある場合は、電源を切るか場所を移動してください。

- セキュリティシステム（盗難防止装置）
- アマチュア無線機
- 携帯電話、PHS
- その他強い電波のある場所
- テレビ、ラジオ等

1 ATシフトレバーをパーキング[P]にして、イグニッションキーを抜きます。	2 付属のボリューム用ドライバーで、リセットスイッチを押して離します。	3 表示部すべてのLEDが点灯するか確認します。	4 リモコンのアンテナを十分に伸ばします。
5 エンジンスイッチをLEDが点滅するまで押します。 アラーム音が「ピー・ピー・ピー」と2秒間隔ります。	6 LEDが点滅中にスタートスイッチとストップスイッチを同時に押します。 ※LEDが点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。アラーム音が「ピー」と2秒間隔ります。 アラーム音が「ピー・ピー」と2秒間隔ります。	7 表示部すべてのLEDが点滅し、消灯すれば入力終了です。 アラーム音が「ピー・ピー」と2秒間隔ります。	

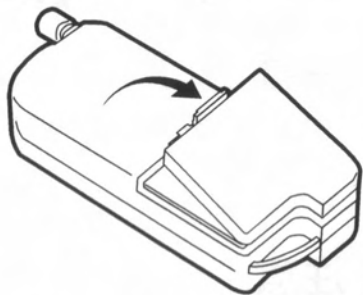
注意
●本製品は市販の出力が10mW以下の電波を送信しようとする付近に同じ周波数の電波がある場合は、市販品と干渉し、送信できない場合があります。
●アラーム音が「ピー・ピー」と2秒間隔ります。

リモコンについて

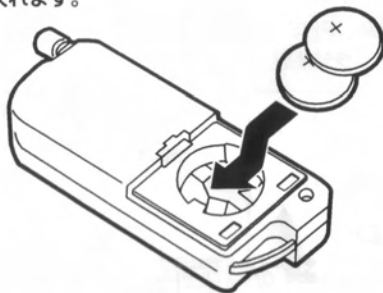
■電池の交換について

電池の交換は、右図の手順にしたがって＋、－の向きをまちがえないよういれてください。

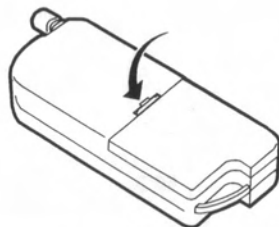
1. 電池カバーを矢印の方向へ開けます。



2. 新しい電池（CR2032）を、2個とも＋を上にして入れます。



3. 電池カバーを矢印の方向へ閉めます。

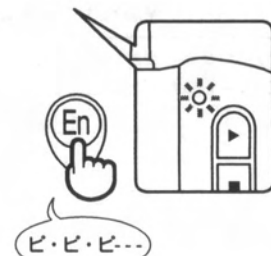


操作及び確認について

■リモコンでの操作及び確認

- (1) エンジンを始動させる。
リモコンを操作するときは、アンテナを十分に伸ばしてください。

- 1 エンジンスイッチをLEDが点滅するまで押します。
◆アラーム音が「ビ・ビ・ビ・・・」と2秒間鳴ります。

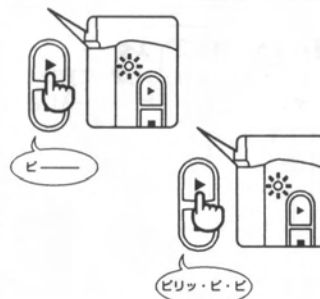


- 2 LEDが点滅中に、スタートスイッチを押します。
※LEDが点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。
◆アラーム音が「ビ——」と2秒間鳴ります。



注意

- 本製品は電波送信出力が10mWの為、電波を送信しようとする付近に同じ周波数帯の電波がある時は、電波法上送信できない場合があります。
- ◆アラーム音が「ビリッ・ビ・ビ」と鳴り電波は送信されません。

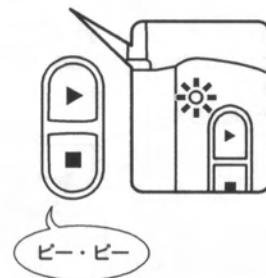


- 3 リモコンのLEDが2回点灯します。
◆アラーム音が「ビー・ビー」と2秒間鳴ります。



注意

- リモコンからの電波を操作部が受信していない場合は、アラーム音が「ビリッ・ビ・ビ」と鳴ります。



- 4 車の電源が入りエンジンを始動します。

- リトライ機能
リモコンでエンジンを1回目で始動できなかった場合、自動で最大2回まで再始動を行います。

操作及び確認について

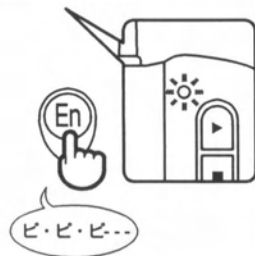
(2) エンジン始動の確認

リモコンでエンジン始動をした場合、始動しているか、いないかリモコンで確認できます。

リモコンを操作するときは、アンテナを十分に伸ばしてください。

1 エンジンスイッチをLEDが点滅するまで押します。

◆アラーム音が「ピ・ピ・ピ・・・」と2秒間鳴ります。



2 LEDが点滅中に、スタートスイッチを押します。

※LEDが点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。

◆アラーム音が「ビ——」と2秒間鳴ります。



3 リモコンのアラーム音でお知らせします。

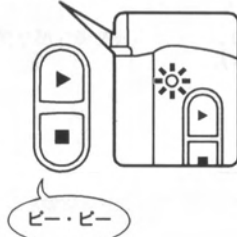
エンジンが始動している場合

◆アラーム音が「ピリピリピリ・・・」と2秒間鳴ります。



エンジンが始動していない場合

◆アラーム音が「ビー・ビー」と2秒間鳴ります。



操作及び確認について

(3) エンジン停止させる

リモコン操作するときは、アンテナを十分に伸ばしてください。

1 エンジンスイッチをLEDが点滅するまで押します。

◆アラーム音が「ピ・ピ・ピ・・・」と2秒間鳴ります。



2 LEDが点滅中に、ストップスイッチを押します。

※LEDが点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。

◆アラーム音が「ビ——」と2秒間鳴ります。



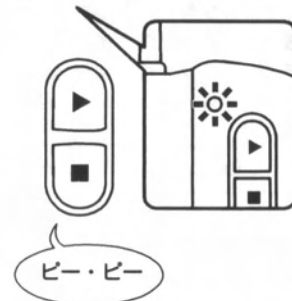
3 リモコンのLEDが2回点灯します。

◆アラーム音が「ビー・ビー」と2秒間鳴ります。



注意

●リモコンからの電波を操作部が受信していない場合は、アラーム音が「ピリッ・ピ・ピ」と鳴ります。



4 エンジンが停止します。

※車から発生するノイズの影響で、エンジンを始動させる時に比べ停止させる時の方が通信距離が短くなることがあります。

操作及び確認について

(4) アイドリング（暖気）時間残り5分前のお知らせ

★条件

この機能は、「エンジン始動の確認」の操作を行わないと機能しません。

※「エンジン始動の確認」の操作を行なった時点で、操作部のアイドリング（暖気）残り時間がリモコンに記憶されます。

- 1 アイドリング（暖気）時間が残り5分になると、リモコンのアラーム音が「ビー・ビー・ビー」と3秒間鳴りお知らせします。

あと5分！



注意

- リモコンが離れた場所や、カバン等の中にあるとアラーム音が聞こえない場合があります。
- 残り5分前までに、イグニッションキーをONまで回したり、安全回路が作動したりして、アイドリングを終了した場合でもお知らせのアラーム音が鳴る場合があります。

操作及び確認について

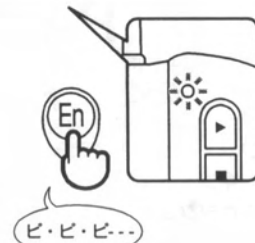
(5) アイドリング（暖気）時間を10分間延長させる

★条件

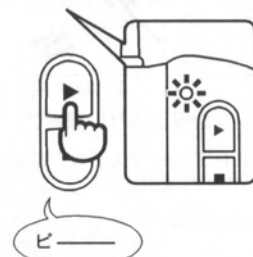
この機能は、「アイドリング（暖気）時間残り5分前のお知らせ」のアラーム音が鳴ってから操作しないと機能しません。

リモコンを操作するときは、アンテナを十分に伸ばしてください。

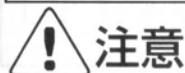
- 1 エンジンスイッチをLEDが点滅するまで押します。
◆アラーム音が「ビ・ビ・ビ・・・」と2秒間鳴ります。



- 2 LEDが点滅中に、スタートスイッチを押します。
※LEDが点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。
◆アラーム音が「ビ——」と2秒間鳴ります。



- 3 リモコンのアラーム音でお知らせします。
◆アラーム音が「ビリビリビリ・・・」と2秒間鳴ります。



注意

- 上記操作を行なった場合は、設定したアイドリング（暖気）時間に加え10分間の延長をします。
(例) 15分に設定してある場合は、延長すると25分になります。

操作及び確認について

■安全機能の確認

1. ATシフトストップ回路の確認

1 ATシフトレバーをパーキング **P** にして、パーキングブレーキをかけます。



3 フットブレーキを踏み、ATシフトレバーをパーキング **P** (もしくはニュートラル **N**) 以外のポジションへ移動します。

P・N以外



※ターボタイマー作動中でも確認できます。

※エンジンが停止しない場合は、フットブレーキ配線の接続を行ってください。

2. フットブレーキストップ回路の確認

1 ATシフトレバーをパーキング **P** にして、パーキングブレーキをかけます。



3 フットブレーキを踏みます。



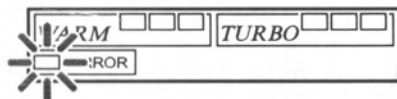
※ターボタイマー作動中でも確認できます。

※1. と2. はどちらか選択になります。

2 リモコンでエンジンを始動します。



4 エンジンが停止して、エラーランプが点滅すれば正常です。

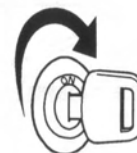


3. キースイッチ優先回路の確認

1 ATシフトレバーをパーキング **P** にして、パーキングブレーキをかけます。



3 暖気LEDが点滅するのを確認し、イグニッションキーをONまで回します。

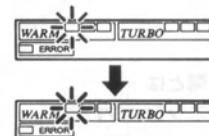


※STARTまで回すと、セルモーターが故障する恐れがありますので必ずONの位置で止めてください。

2 リモコンでエンジンを始動します。



4 暖気LEDが点滅から点灯に変われば正常です。



設定について

■エンジンスイッチの設定方法

- エンジンの種類（ガソリン車・ディーゼル車）や特性にあわせて、操作部のエンジンスイッチを選択します。

エンジンスイッチ	グロー時間
GASOLINE	1.5秒
DIESEL	5秒

◆グロー時間とは？

車のイグニッション電源が入り、セルが回るまでの時間。

設定について

■アイドリング（暖気）時間の設定方法

- 初期設定の時間は15分です。

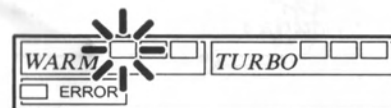
1 ATシフトレバーをパーキング[P]にして、パーキングブレーキをかけます。



2 イグニッションキーでエンジンを始動します。

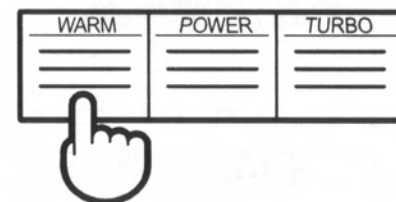


3 操作部の電源がON状態が確認します。



このイラストは暖気時間15分・ターボタイマーOFFの状態です。

4 ウォーム（暖気）モードスイッチを押し設定します。



※押す毎に、設定時間は切り替わります。
※設定時間は15分・30分・60分の3パターンです。

設定について

■ターボタイマーの設定方法

●初期設定はOFFです。

1 ATシフトレバーをパーキング[P]にして、パーキングブレーキをかけます。



2 イグニッションキーでエンジンを始動します。

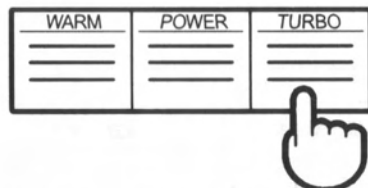


3 操作部の電源がON状態が確認します。



このイラストは暖気時間15分・ターボタイマーOFFの状態です。

4 ターボタイマースイッチを押し設定します。



※押す毎に、設定時間は切り替わります。
※設定時間は30秒・1分・5分の3パターンです。
※ターボタイマーLEDが消灯している場合はOFFになります。



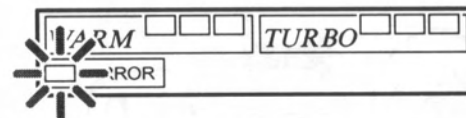
注意

- カウントダウン中にエンジンを停止するには
リモコン操作にて停止するか、操作部の電源をOFFにしてください。
- ターボタイマーを使用しない時は
ターボタイマーLEDが消灯している状態にしてください。
- カウントダウン中に走行する時は
イグニッションキーをONの位置まで回し、フットブレーキを踏みATシフトレバーを移動してください。

その他機能について

■バッテリー電圧の識別

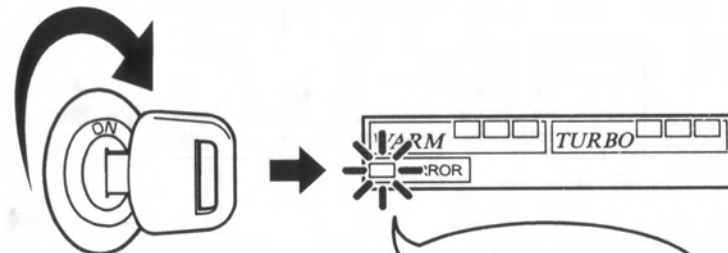
- 車のバッテリー電圧がセルを回した瞬間、極端に低くなると以下のようにお知らせします。
- ◆イグニッションキーでエンジンを始動した場合
操作部のエラーランプが30秒間速い点滅をします。



30秒間速く点滅

◆リモコンでエンジンを始動した場合

エンジンが始動した、しないにかかわらず操作部のエラーランプが、イグニッションキーをONの位置にしてから30秒間速い点滅をします。



30秒間速く点滅



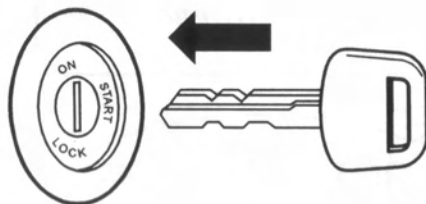
注意

- 上記症状になった場合、バッテリーの充電もしくは交換をおすすめします。
- バッテリーの充電もしくは交換をおこなった場合は、IDコードの入力を必ず行ってください。

運転するときは

リモコンでエンジンを始動した際は、下記の操作を行ってください。

1 イグニッションキーを差し込みます。



2 イグニッションキーをONまで回します。



※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずに操作してください。
※イグニッションキーをSTARTまで回すと、セルモーターが故障する恐れがありますので必ずONで止めてください。

3 通常に運転できます。

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法
リセットスイッチを押しても操作部のLEDが点灯しない	・アース端子は適切な場所に取付けしてありますか？ ・専用ハーネスは車に適合していますか？	・確実にボディアースがとれる場所に取付けてください ・適合した専用ハーネスをご使用ください
リモコンでエンジンが始動しない ※セルを回さない場合	・専用ハーネスは車に適合していますか？ ・専用ハーネスは確実に接続されていますか？ ・ATシフトレバーがパーキング [P] になっていますか？ ・操作部のエラーランプが点滅していませんか？	・適合した専用ハーネスをご使用ください ・接続方法に従い、確実に接続してください ・パーキング [P] に確実に入っているか確認してください ・フットブレーキ配線の接続をしてください
リモコンでエンジンが始動しない ※セルを回す場合	・専用ハーネスは車に適合していますか？ ・専用ハーネスは確実に接続されていますか？ ・L端子配線の接続はしてありますか？	・適合した専用ハーネスをご使用ください ・接続方法に従い、確実に接続してください ・L端子配線の接続をしてください
リモコンでエンジンが始動しない ※L端子配線の接続をしてある場合	・エレクトロタップ及びギボシ端子は接続されていますか？ ・車側のL端子検出線が間違っていないですか？	・確実に接続してください ・L端子の基準電圧を確認してください ※取付け・接続説明書の「L端子配線の接続方法」参照

BeTime A-03

取付け・接続説明書

はじめにこの取付け・接続説明書をすべてお読みになり、内容と手順をよくご理解いただいてから取付け作業を始めてください。

BeTime

株式会社コムテック

愛知県西加茂郡三好町筋生下石田60番地
サービス部 TEL05613-6-5654

●取付け前の注意



危険

ピータイムは取付けや使用方法を誤ると事故や火災を招く恐れがあります。取付け・接続説明書の注意をよく読み、理解してから取付けてください。

- ピータイムは、ピータイム車種別専用ハーネス以外で取付けると、コードの容量不足や接続不良などによって事故や火災の原因となり危険です。必ず別売のピータイム車種別専用ハーネスで取付けてください。
- 日産AT車は、ターボタイマースタート時にイグニッションキーが抜けなくなる車種があります。イグニッションキーが抜けなくなる車種には別売のキーロックリレーアダプターが必要です。詳しくは、ピータイム専用ハーネス車種別適合表をご覧ください。ただか、当社サービス部へお問い合わせください。
- ターボタイマー（スターターを含む）や盗難防止機（他社製品）との併用取付けはできません。



危険

ピータイムは国産12VのAT車で、イグニッションキーのみでエンジンを始動することができる車に取付けできます。したがって、下記の車種にはピータイムを取付けしないでください。

- エンジン始動直後、チャージランプが消えない車。
（特に、寒い朝等エンジンが冷えている時に発生しやすい車。）
- 24V車（寒冷地仕様などでバッテリーが2個付いている12V車は取付けできます。）
- マニュアルミッション車
- エンジン始動の際にアクセルペダルの操作を必要とする車
- 輸入車



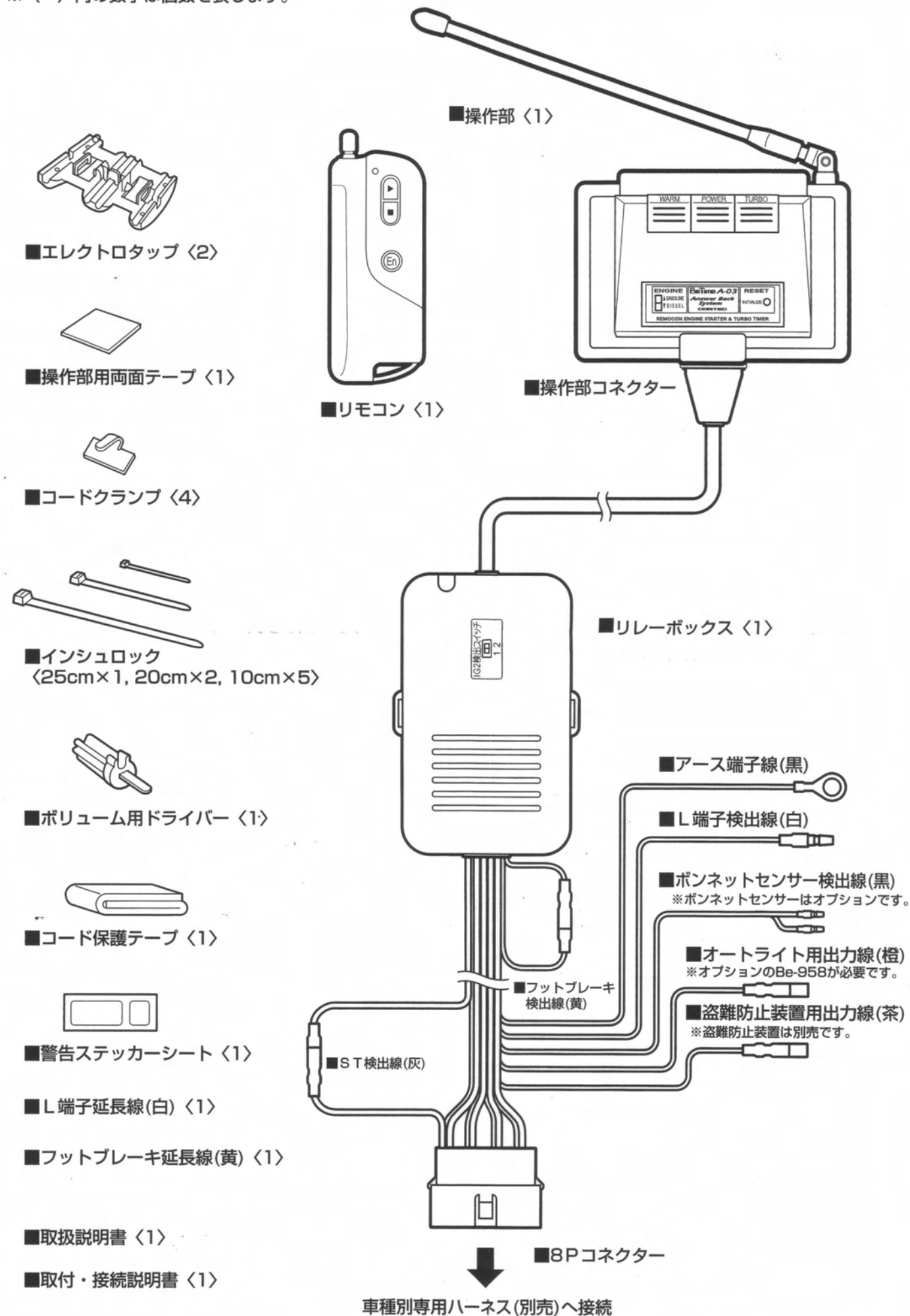
注意

下記装置はピータイムを装着すると、正常に働かなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックシステム
（リモコンでエンジンを停止してから、リモコンドアロックをご使用ください）
- セキュリティシステム（盗難防止装置）
（セキュリティシステムをOFFにして本機をご使用ください。）
- オートポジションステアリング&シート
（乗車時、リモコンでエンジンを停止してからイグニッションキーでエンジンを始動してください。レジェンドDPS装着車は、取付け時に解除しなければならないため、Be-959をお買い求めください。）

●基本接続図とセット内容

※ 〈 〉 内の数字は個数を表します。

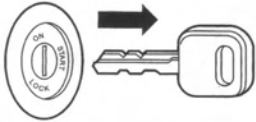


●取付け・接続について

⚠ 取付け・接続の前に

安全に作業をしていただくため取付ける前に、次の3つのことを必ず守ってください。

- 1 ATシフトレバーをパーキング **P** にします。
- 2 パーキングブレーキを確実にかけます。(フット式・サイド式)
- 3 イグニッションキーを抜きます。



・取付けに関して必要な工具

- 1 ドライバー(+)
- 2 プライヤー
- 3 ニッパー
- 4 ボックスレンチ (またはメガネレンチ、スパナ)
- 5 サーキットテスター (または検電テスター)

※車種により、その他の工具が必要な場合があります。

キー操作でのアイドリング中に、操作部のパワースイッチをON又はOFFにすると、アイドリングの回転数が低くなったり、エンジンが停止したりする車種が一部あります。このような場合は、オプションBe-961「リレー瞬断防止アダプター」を取り付けて下さい。

1. 車種別専用ハーネスの接続

- 1 車のキーシリンダーから出ているコネクタを探す。



⚠ 注意

コネクタの場所は、車種により異なります。

- ① キーシリンダー直付けタイプ
- ② キーシリンダーから10cm~20cmの場所にあるタイプ
- ③ ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ

- 2 車側のコネクタをはずし、はずしたコネクタ間を専用ハーネスで接続する。



2. アース端子の取付け

- 1 リレーボックスからでているアース端子 (黒コード) を、塗装されていないボディまたはフレームのビスにしっかりと共締めします。

⚠ 注意

- ・テスター等で、確実にアースがとれているか確認してください。
- ・アース端子とフレームの間に樹脂、塗装等があると、確実なアースがとれません。
- ・不適切な場所へアース端子を取付けると、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。



5. L 端子配線の接続方法

リモコンスタートによるエンジン始動時、オルタネータのL端子信号により確実な始動判断を行なうことができます。

⚠ 注意

- ・L端子の基準電圧はイグニッションキーON時、エンジン始動前は“4V”以下、エンジン始動後は“6V”以上です。
- ・オルタネータのL端子配線をしないとエンジン始動できない車種があります。また、寒冷地ではオルタネータのL端子配線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- ・車のL端子検出線は、車内やオルタネータ以外の場所でもとれる場合があります。

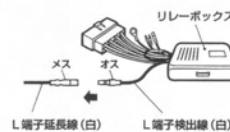
- 1 ATシフトレバーをパーキング **P** にしてイグニッションキーを抜きます。
- 2 エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所をさがします。
- 3 線が通るようにカッターナイフ等で切り穴を開けます。
- 4 L端子延長線 (白) を図のように室内側から入れます。



- 5 車のL端子検出線まで、L端子延長線 (白) を配線します。
- 6 車のL端子検出線とL端子延長線 (白) を付属のエレクトロタップで接続します。



- 7 ※エレクトロタップの使用方法をご覧ください。リレーボックスから出ているL端子検出線 (白) と、L端子延長線 (白) を接続します。

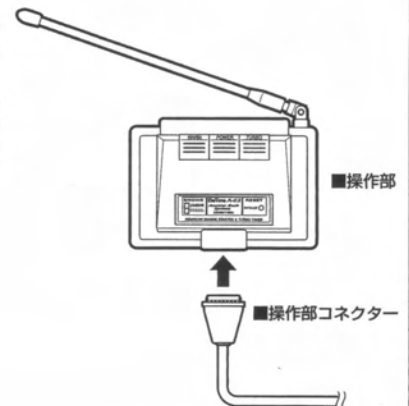


6. 操作部とリレーボックスの接続

- 1 リレーボックスの操作部コネクタを操作部に接続します。

⚠ 注意

- ・操作部と室内アンテナは一体になっています。
- ・操作部を取り付ける場所により、電波の飛距離が変わる場合があります。

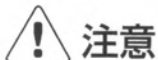


3. 専用ハーネスとリレーボックスの接続

- 1 専用ハーネスの8Pコネクタと、リレーボックスの8Pコネクタを接続します。

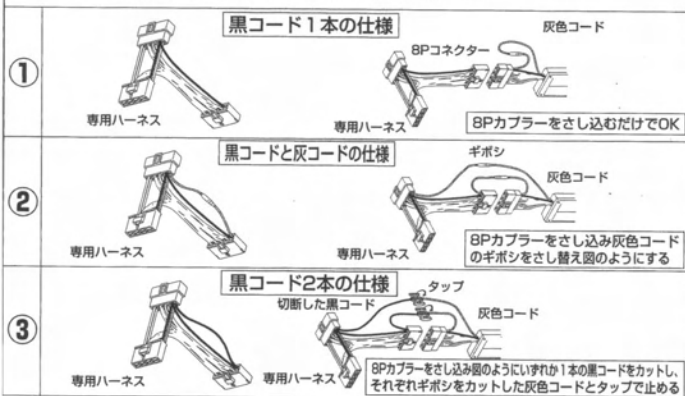


- 2 下記の図 ①・②・③から専用ハーネスの種類を確認して配線してください。



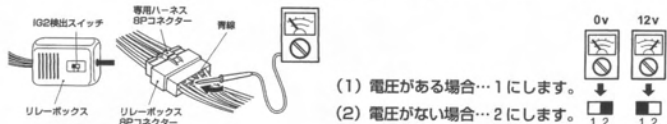
注意

- ・図②・③の仕様の場合は必ずギボシ端子が、しっかりと接続されているかどうか確認してください。接続不良を起こしますと、車種によっては下記のようなトラブルの原因となります。
- エアコンが正常に作動しない。
- ATシフトストップ回路（安全機能）が作動しない。
- アイドリングが不安定になる。
- バッテリーが上がったり、オルタネーターが破損する。



- 3 リレーボックスのIG2検出スイッチを下記のようにしてください。

- 専用ハーネスに青線、青/白線がない場合 1 にします。
- 専用ハーネスに青線、青/白線がある場合（テスターが必要です）
テスターを8Pコネクタの青線の端子部にて、イグニッションキーをSTART まで回し、「セルが回っている時の電圧」を調べます。



- (1) 電圧がある場合…1 にします。
(2) 電圧がない場合…2 にします。

7. 操作部の取り付け

操作部の固定及び配線処理をする前に、本機が正常に動作するかリモコンで※1 IDコードの入力を行い、各機能の※2 動作確認を行ってください。

- ※1 取扱説明書の「IDコードの入力方法」を参照してください。
- ※2 取扱説明書の「確認について」を参照してください。



注意

- ・以下のような場所への取付けは避けてください。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。

- 1 運転の妨げとならない場所に、付属の両面テープでしっかりと固定します。

8. 配線処理について



注意

・誤った配線処理を行なうと、後に本機の不具合や事故の原因となり危険です。したがって以下の項目は必ず行なってください。

- コード類は、余分な長さがあればインシュロック（10cm）で結束してください。
- アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部（コラムシフトレバーの付け根、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等）に専用ハーネスやコード類が接触する場合は、その部分に必ずコード保護テープを貼ってください。

- 操作部コネクタのコードは、コードクランプに挟んで固定してください。



4. フットブレーキ配線の接続方法

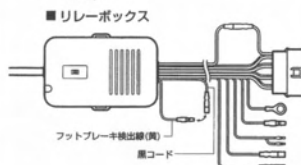


注意

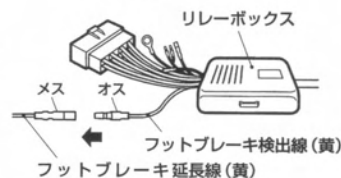
・下記に該当する車種で、フットブレーキ配線を行なわなかった場合、車の誤動作を招く恐れがありますので、必ずフットブレーキ配線を行なってください。

- トヨタ RV車、ワンボックス車、ディーゼル車、オートエアコン装着車
- 日産 全車（ディーゼル車含む）※但し、Y33系のシーマ、セドリック、グロリアのボイスナビゲーション（パードビュー）装着車は、パーキングブレーキ（ブレーキをかけた状態で“OV”、解除した状態で“12V”）配線を行なってください。
- 三菱 デリカ（スペースギア・スターワゴン）、GDI搭載車
- ホンダ レジェンド
- ピータイムでエンジン始動した時にセルが回り続ける車種
- エアバックなどの警告ランプが点灯する車種
- スターター作動時のアイドリング中、又はターボタイマー作動時のアフターアイドリング中に、ATシフトレバーをパーキング（P）から移動した場合エンジンがとまらない車種
- ATシフトレバーがパーキング（P）の位置で、リモコンスタート時に操作部のエラーランプが点滅をしてしまい、エンジンが始動できない車種

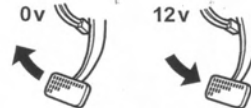
- 1 リレーボックスのフットブレーキ検出線（黄）と黒コードのギボシ端子をはします。



- 3 付属のフットブレーキ延長線（黄）とフットブレーキ検出線（黄）のギボシ端子を接続します。



- 2 フットブレーキを踏まない状態で“OV”、踏んだ状態で“12V”の線にフットブレーキ延長線（黄）をエレクトロタップで接続します。



※エレクトロタップの使用方法をご覧ください。

9. 「警告ステッカー」について

本機を取付けた車を第三者が使用及び整備する場合、安全にお使いいただくため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

- 警告ステッカー（大）の貼り付け
：ボンネット（ワンボックス車の場合エンジンルームカバー）を開けた時、エンジンの熱を直接受けない目立つ場所に貼り付けます。
- 警告ステッカー（小）の貼り付け
：ボンネットオープナー（ワンボックス車の場合エンジンカバーフック）付近に貼り付けます。



エレクトロタップの使用方法

- 1 タップを図のように見ます。
- 2 ストッパー付コード溝に本機のコードを挟みます。
- 3 プライヤー等でロックします。
- 4 ストッパー無しコード溝に車側のコードを挟みます。
- 5 プライヤー等でロックします。
- 6 絶縁テープを巻きます。

